

## 令和3年度事業報告及び事業報告の附属明細書

### I 概要

かながわのナショナル・トラスト運動や県土緑化運動を一層推進するため、地域緑化活動を通じたネットワークの拡大及び緑地保全や県民参加の森林づくり事業の強化を基本方針として各事業について次のとおり取り組んだ。

しかし、昨年度に続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、各種イベントや研修会の中止や縮小により財団本来の活動が制約されたため、新たにインターネットを活用したライブ配信や自然観察等の動画を公開するなど情報発信に努めた。

- 普及啓発事業では、WEBサイトや機関誌「ミドリ」による情報発信のほか、小網代の森でのアカテガニ放仔観察のライブ配信や自然観察会の実施等を通じ、積極的にかながわのナショナル・トラスト運動等の普及啓発や会員募集に取り組んだ。また、「かながわ緑の大使」による募金活動及び若い世代に向けてSNS等によるPRを図った。
- 地域緑化活動事業では、かながわのナショナル・トラスト運動の普及啓発活動を行うとともに、みどりの実践団体の募集と育成に努めた。また、かながわのみどりや森林におけるパワースポット・癒やしスポットについて、イベントやフォトラリー参加者を通して周知に努めた。
- 緑地保全事業では、土地所有者との緑地保存契約の継続や拡大に努め、県内各市町村が行う緑地等指定事業への助成、保存契約緑地等の維持管理及びトラスト緑地で自然再生等の活動を行っているボランティア団体を支援した。
- 県民参加の森林づくり事業では、森林ボランティア活動の推進、森林インストラクターの養成、成長の森の造成、新たな活動フィールドの準備等により、県民の森林づくりへの参加促進に努めた。
- 緑の募金事業では、緑の募金活動を行うとともに、直接事業として緑化運動・育樹運動コンクール等の実施、支援事業として学校や団体の行う緑化活動や緑の少年団の活動への支援を行った。また、いきいき緑基金を活用し、県内で活動するボランティア団体等に対し、竹林等の整備として竹粉碎機の貸し出しを行った。

### II 事業の実施状況

#### 1 普及啓発事業

##### (1) 広報普及活動

みどりを守り育てる運動を県民や企業等に周知し、会員登録、基金への募金、運動への参加を促進するために各種イベントでのPR、ホームページや地域情報誌等による広報、自然観察会等を行った。

##### ア イベントでの普及啓発活動

開催日	場所	主な内容
令和3年7月17日(土)～25日(日)、9月16日(木)～26日(日)	藤沢市長久保公園	かながわのナショナル・トラスト運動パネル展
令和4年2月12日(土)より公開	WEBにてVR公開	第21回さがみ自然フォーラム・パネル展

令和4年3月25日(金) ～27日(日)	京急百貨店	小網代の森動植物写真及びかながわのナショナル・トラスト運動パネル展等
-------------------------	-------	------------------------------------

イ 機関誌ミドリの発行

機関誌ミドリを4回発行し、会員や県、市町村、県立公園、博物館等に配布して県民のみどりに対する理解増進を図った。

号	発行	発行部数	主な内容
121(夏)	3年 6月	10,000部	コナラ、ナラ枯れ被害は止められるか？ 谷戸頭・谷戸緑地など
122(秋)	3年 9月	10,000部	財団事業報告、初夏の小網代の森ガイド ウォークなど
123(冬)	3年 12月	10,000部	小網代干潟の小さな貝たち、三浦半島の 「もり」を海から見るなど
124(春)	4年 3月	10,000部	3,200年前の埋没林・縄文の森の様相、 かなユリ・チャレンジに参加してなど

ウ 小網代の森インフォメーションスペースの出展等

期間 令和3年4月1日(木)～令和3年8月15日(日)

令和3年9月27日(月)～令和4年3月31日(木)

場所 三浦市民交流センター内小網代の森インフォメーションスペース

内容 普及啓発パネル、小網代の森の動植物の写真展示及び学習図書の提供

エ かながわのナショナル・トラスト運動のPR

トラスト運動リーフレットや啓発用物品を作成し、市民団体や企業等に配布した。

- (ア) 入会申込書付きリーフレット 16,000部
- (イ) 小網代の森リーフレット 4,000部
- (ウ) かながわトラストみどり基金チラシ(かながわキンタロウ☆ブックキフ) 6,500部
- (エ) イベント&森林ボランティア情報誌 1,500部
- (オ) 財団オリジナルSDGsシール 2,000枚
- (カ) 新聞折込チラシ 250,000部

オ WEBサイト等の充実

- ・ホームページアクセス件数17,246件/月(目標15,000件/月)

(ア) 情報発信及び整備

公式WEBサイトやSNS(facebook、Twitter等)で会員募集や寄附の情報発信及びWEBサイトの整備に取り組んだ。

(イ) 動画配信サービス

公開日 令和3年7月1日(木)ほか3回

場所 小網代の森ほか

内容 自然観察会、果樹の剪定方法等

カ 自然観察会等の開催

(ア) 歴史見学(公益財団法人鎌倉風致保存会との共催) 中止

(イ) 森林探訪(NPO法人かながわ森林インストラクターの会との共催)

開催日 令和3年9月26日（日）ほか1回  
 場 所 鎌倉広町緑地ほか  
 参加者 93人  
 内 容 植物、樹木の観察

(ウ) 自然観察会等

開催日 令和3年4月10日（土）ほか15回  
 場 所 大和市久田緑地ほか  
 参加者 234人  
 内 容 街路樹、植物、野鳥などの観察

(エ) トラスト緑地周遊クルーズ 中止

キ 小網代の森観察会の開催

(ア) ホタルの見頃に夕方観察会等 中止

(イ) アカテガニ放仔観察ライブ配信

開催日 令和3年8月21日（土）  
 場 所 引橋入口からアカテガニ広場  
 視聴者 175人  
 内 容 インターネットを活用したオンラインライブ配信による緑地内での自然観察、アカテガニ放仔等の観察

ク 関係団体と自然観察会等の共催及び普及啓発に係る事業の委託等

(ア) 関係団体との共催等

- a 共催 NPO法人かながわ森林インストラクターの会
- b 後援 藤沢市みどりいっぱい市民の会、箱根生物研究会、NPO法人あしがらアートの森、三浦市、公益財団法人神奈川県公園協会、さがみ自然フォーラム

(イ) 委託事業の実施

NPO法人小網代野外活動調整会議とNPO法人かながわ森林インストラクターの会に当財団の普及啓発及び会員募集を委託した。

ケ かながわ緑の大使の活動

中高生の2人が、かながわ緑の大使として竹林整備、県民参加の森林づくり、自然観察会、丹沢の植樹会等に参加し、募金活動等を行った。

コ 顧客管理システムの管理

会員及びイベント参加者等の情報管理の効率化やセキュリティーの向上に努め、顧客管理システムの基盤整備を強化した。

サ かながわトラストみどり財団サポーター制度の活用

財団の事業運営を支援するサポーターを追加登録（3人）した。

登録人数 80人 活用回数 なし（中止）

シ 会員数

- ・新規会員469人（目標500人）、トラスト緑地保全支援会員122人（目標120人）

会員種別		令和元年度	令和2年度	令和3年度
普通 会 員	個人会員	3,672人 [405人]	3,578人 [438人]	3,564人 [459人]
	家族会員	6,267人 [683人]	6,053人 [706人]	5,766人 [681人]
	団体会員	271人 [26人]	274人 [29人]	277人 [33人]

会員種別	令和元年度	令和2年度	令和3年度
特別会員	310人	310人	307人
名誉会員	5人	5人	5人
会員数	10,525人 〔1,114人〕	10,220人 〔1,173人〕	9,919人 〔1,173人〕
(内、過去1年間に会費の納入があった会員数)	(8,853人) (87.1%)	(8,641人) (87.2%)	(8,432人) (87.8%)

※〔 〕は内、トラスト緑地保全支援会員数

※会員規則第8条第1項第2号により「会費を引き続き2年以上納入しないとき。」は会員資格の喪失が規定されています。

## (2) 緑化協力金制度の運営

25箇所の協力駐車場のうち当財団では片瀬海岸地下駐車場や四季の森公園など16箇所の駐車場の緑化協力金を集結し、県のトラスト基金への積み立てを行った。

## 2 地域緑化活動事業

地域緑化を推進するため、みどりの実践団体を募集するとともに、みどりの実践団体が行う緑化活動の支援を行った。一堂に会する研修会・交流会は見送り、各実践団体の活動等の情報交換を紙面で提供し、交流と今後の活動の推進に努めた。

### (1) みどりの実践団体の育成

#### ア 参加団体数

・財団事業に参加した団体数219団体（目標200団体）

#### イ 支援制度

地域におけるみどりの愛護と創造を実践する団体に対し奨励金及び地域緑化活動助成金を交付した。

初年度奨励金 3団体

地域緑化活動事業助成金 37団体

#### ウ 実践団体の募集

地域のみどりや身近な自然を守るために活動している自治会や市民団体等のみどりの実践団体への登録をホームページ、新聞折り込み広告等により募集を行い、助成制度や資料請求等の問い合わせに対応し登録促進に努めた。

#### エ 団体交流の促進

みどりの実践団体の事業推進に資するよう各団体の活動状況、課題、他団体への呼びかけや連絡先等を紙面にまとめ、実践団体に送付し団体間の交流に努めた。

### (2) 地域活動の支援

#### ア 研修・講演会

湘南グリーンコネクション2021

開催日 令和3年12月21日（火）

会場 二宮町生涯学習センター「ホール」

参加者 107人

#### イ 身近なみどりの周知

県内の魅力あるみどりのスポットとして、かながわのみどりや森林におけるパワースポット10箇所、癒やしスポット26箇所を、フォトラリー実施後においてもイベントやフォトラリー参加者等を通じて周知に努めた。

## 3 緑地保全事業

緑地所有者と緑地保存契約を締結して、緑地の適正な維持管理に努めるとともに市町村の緑地等指定事業への助成を行った。また、緑地で活動する市民団体への支援、蟹田沢緑地の保全及び小網代の森保全利活用対策協議会を開催した。

(1) 緑地保存契約

5箇所の緑地について緑地所有者と保存契約を継続し、新たに葛葉緑地において968㎡(目標500㎡)の保存契約を締結した。

緑地名	緑地総面積 (㎡)	保存契約 対象面積 (A) (㎡)	保存契約 面積 (B) (㎡)	契約率 (B/A) (%)	契約 期間 (年)	年間賃借料 (円)
葛葉緑地 (秦野市)	152,784.95	77,022.84	57,393.84	74.5	10	2,930,305
久田緑地 (大和市)	98,239.00	81,891.00	75,148.00	91.8	10	5,410,656
泉の森緑地 (大和市)	79,454.31	39,528.46	26,698.38	67.5	10	3,405,874
大崎緑地 (逗子市)	70,936.70	34,343.70	17,544.70	51.1	10	1,438,665
小網代の森緑地 (三浦市)	574,500.00	104,007.00	104,007.00	100	10	33,531
5緑地 計	975,914.96	336,793.00	280,791.92	83.4	—	13,219,031

(2) 保存契約緑地等の維持管理

葛葉緑地(秦野市)、久田緑地(大和市)及び小網代の森緑地(三浦市)の自然環境保全のため、樹木の管理、草刈り及びナラ枯れの被害木の伐採等の適正な管理に努めた。

(3) 市町村の緑地等指定事業への助成

市が緑地所有者との契約により緑地保全を図る事業に助成した。

市町村	緑地等指定面積	実績額	助成金交付額	助成率
横浜市他10市	514,020.83㎡	30,017,353円	9,000,000円	29.98%

(4) 緑地保全コーディネート

ア 小網代の森保全利活用対策協議会

小網代の森緑地について、財団、県、有識者、保全活動団体等で構成する小網代の森保全利活用対策協議会を開催して小網代の森の利用、保全対策、管理活動等について協議した。なお、本年度は、書面により2回開催した。

イ トラスト緑地の保全支援

トラスト緑地において、自主的に保全活動にあたる4団体に対してトラスト緑地保全支援事業として活動費を助成した。

- ・小網代の森緑地(NPO法人小網代野外活動調整会議)

大規模な湿地環境再生事業、外来植物除去作業の実施及びアカテガニ放仔観察会の支援に取り組んだ。

- ・久田緑地(久田緑地くらぶ)

竹林の定期的な伐採や落ち葉かきなど里山の維持管理活動に取り組んだ。

- ・桜ヶ丘緑地(桜ヶ丘・水辺のある森再生プロジェクト)

水辺の環境の維持管理作業を地元小学校と取り組むなど、地域連携による環境保全活動に取り組んだ。

- ・葛葉緑地（くずはの家ボランティアの会）

緑地内の清掃、外来種駆除及びヤマビル対策等に取り組んだ。

#### ウ 蟹田（ガンダ）沢の保全

京浜急行電鉄(株)が所有する蟹田沢緑地（小網代の森隣接地）の保全に協力するため、ビオトープの整備、生態系の保全業務を受託した。

## 4 県民参加の森林づくり事業

### (1) ボランティア活動の推進

県民参加による豊かな森林づくりを推進するため、多様な森林づくりボランティア活動の機会の提供やボランティア団体の活動発表会の実施、小・中・高校生への森林体験学習等の支援、企業・団体等が行う森林づくり活動等への指導者の派遣、用具の貸出しを行った。

- ・ボランティア参加者数 4,811人（目標10,500人）

#### ア 県民参加の森林づくりボランティア活動

新型コロナウイルス対策での開催が12回、中止が5回、追加実施が2回

活動内容 植栽、枝打、間伐、除伐、竹林整備

参加者 804人

#### イ 団体の活動発表会

回数 1回

場所 県立茅ヶ崎里山公園パークセンター

参加者 65人（アに含む）

#### ウ 小・中・高校生の森林学習等支援

学校数 25校

活動内容 森林学習、自然観察、森林作業体験

参加者 1,805人

#### エ 団体等への指導者の派遣

回数 15回

活動内容 自然観察、間伐、植樹、枝打、林内整備等

参加者 347人

#### オ 団体等への用具の貸し出し

回数 44回

活動内容 森林作業体験等

参加者 3,218人（ウとエ1,363人に含む）

### (2) 森林インストラクター活動

県民の森林への理解を深めるための普及啓発やボランティア活動の円滑な推進を図るため、森林インストラクターの育成を行い森林インストラクター派遣の調整を委託した。

#### ア 森林インストラクターの派遣調整事務の委託

財団、学校及び各種団体等が行う森林づくり活動や自然観察の指導等に係る森林インストラクターの人選、調整、派遣等をNPO法人かながわ森林インストラクターの会に委託した。

回数 57回

派遣人数 438人

#### イ 森林インストラクターブラッシュアップ研修

回数 3回

参加者 77人

ウ 神奈川県森林インストラクターの養成

子ども達の森林体験学習や県民の森林づくり活動の多様化等に対応した指導者を養成するため、第17期神奈川県森林インストラクター養成講座（一年次）を開講した。

講座日数 11日  
 期間 令和3年9月～令和4年3月  
 参加者 35人

(3) 森林づくり普及啓発

県民の森林への理解を深め、森林づくりへの参加を促進するため、普及啓発活動を行った。

ア 森林づくり日程表等の作成

森林づくりへの参加を促進するため森林づくり活動日程表等を作成し、配布した。

日程表の作成数：20,000部 配布先：既参加者、行政機関、企業等

イ やどりき水源林の案内 8月～9月中止

県民に水源の森林づくりへの理解を深めるため、「水源かん養機能の高い見本林」として整備している「やどりき水源林」に毎週土曜日と日曜日（12月から2月を除く）に「森の案内人」を配置し、水源の森林づくりの解説や森林の案内を行っている。

配置場所：やどりき水源林（松田町寄）

配置人員：延べ152人

ウ 成長の森の造成

赤ちゃんが誕生した家族から神奈川県産無花粉スギの苗木の寄付を受け、県と財団が連携して県立21世紀の森で森林づくりを行い、かながわの森林への理解増進を図った。

苗木寄付 127家族 173人

エ 街頭キャンペーン 中止

オ 水源林のつどいの開催 中止

5 緑の募金事業

(1) 緑の募金活動

ア 会議の開催

(ア) 第20回緑の募金運営協議会

開催日 令和3年5月20日（木） 書面決議

主な議案 令和2年度事業報告及び収支決算

(イ) 第21回緑の募金運営協議会

開催日 令和4年3月7日（月）

主な議案 令和4年度緑の募金実施要領及び令和4年度事業計画、収支予算

イ 募金活動

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため街頭募金活動を制限する中、学校、職場、企業、団体等において、緑の募金運動を展開し、次のとおり募金収入を得た。

・募金額26,030,569円（目標21,700,000円）

緑の募金種類	令和元年度	令和2年度	令和3年度
緑の羽根募金	14,406,333 円	10,423,785 円	19,130,451 円
緑化グッズ募金	6,794,096 円	7,082,960 円	6,900,118 円
計	21,200,429 円	17,506,745 円	26,030,569 円

(2) 地域緑化の推進

ア 学園緑化推進事業

緑の募金協力校が実施する小規模な学校緑化に対し支援した。(延べ53校)

イ 指定校緑化事業

緑の募金協力校の中から、神奈川県教育委員会及び神奈川県私学振興課の推薦を得て、学校環境緑化に積極的に取り組む7校を指定し、学校緑化を実施した。

公立学校の部 (6校)

小学校 川崎市立西丸子小学校ほか2校

中学校 茅ヶ崎市立円蔵中学校ほか1校

高等学校 県立鶴見総合高等学校

私立学校の部 (1校) 聖セシリア女子中学校・高等学校

ウ ふれあい緑化事業

地域住民等が自主的に行う植樹活動への支援及び県民への苗木配布を実施するとともに「緑の募金」及び「かながわのナショナル・トラスト運動」の普及を図った。

(ア) 植 栽 横須賀市鷹取山ほか4箇所 134本

(イ) 苗木配布 三浦市初声下宮田市民交流センターほか1箇所 315本

エ 丹沢の緑を育む集いへの参加

丹沢大山地域において県民参加による森林衰退域への植生回復事業、ボランティアとの協働による大山北尾根周辺での植栽や保全活動、水質調査等を実施している「丹沢の緑を育む集い実行委員会」(構成員：神奈川県、秦野市、清川村、当財団等)に支援した。

オ 森林保全活動

県民に森林づくり体験の参加者を募り、県立21世紀の森等で森林保全活動を行った。

実施日 令和3年10月24日(日)ほか1回

場 所 南足柄市内山ほか

内 容 竹林整備

参加者 101人

カ ジュニアフォレスター教室 中止

(3) 緑の少年団の活動支援

森林での体験学習活動、地域での社会奉仕活動、レクリエーション活動等を行う緑の少年団の育成強化と活動支援を実施した。

ア 緑の少年団交流集会の開催

開催日 令和3年11月7日(日)

場 所 相模原市こもれびの森

内 容 間伐体験、花の寄せ植え、クラフト

イ 緑の少年団連絡調整会議

開催日 令和3年5月8日(土)

場 所 あつぎ市民交流センター

内 容 令和2年度活動報告等

参加者 8人

(4) 緑化運動・育樹運動コンクールの開催

緑化運動・育樹運動コンクールを実施し、入賞者を表彰した。

ア 表彰日 令和3年11月27日(土)

イ 会 場 県立地球市民かながわプラザホール

ウ 入賞者等(上位入賞作品は(公社)国土緑化推進機構主催全国コンクールへ出品)

(ア) ポスター原画コンクール(応募点数 330点、入賞点数 39点)



		小学校	中学校	高等学校	合計
応募点数		189	104	37	330
賞の選定数	最優秀賞	1	1	1	3
	金賞	2	2	1	5
	銀賞	3	1	1	5
	銅賞	5	3	1	9
	佳作	12	3	2	17
	合計	23	10	6	39

(イ) 標語コンクール (応募点数 266点、入賞点数 31点)

		小学校	中学校	高等学校	一般	合計
応募点数		96	113	3	54	266
賞の選定数	最優秀賞	1	1	0	1	3
	金賞	2	3	0	2	7
	銀賞	3	3	0	1	7
	銅賞	2	4	0	1	7
	佳作	2	3	1	1	7
	合計	10	14	1	6	31

エ 令和4年用国土緑化運動・育樹運動コンクール (主催 (公社) 国土緑化推進機構)

(ア) ポスター原画コンクール

国土緑化推進機構理事長賞 (入選) 2人

(イ) 標語コンクール

入選 1人

(5) 緑の祭典への参画 中止

(6) いきいきみどり基金による支援

竹林整備等支援事業

森林整備等の活動に取り組むNPO法人等に竹粉碎機の利用登録や貸し出しを行った。

登録団体 23団体

貸出回数 19回

(7) 協力等事業

ア (公社) 国土緑化推進機構関係

(公社) 国土緑化推進機構の要請により次の業務を実施した。

(ア) 企業の森づくり体験活動事業

企業が行う森林づくり体験活動をサポートするため、土地所有者等と協定を締結し具体的な企画、提案を行うとともに、活動フィールドの整備、情報発信、森林インストラクターの派遣などを行った。

(イ) 公募事業 (緑の募金、緑と水のファンド)

国民参加の森林づくり運動を推進するため、森林整備や緑化活動の事業に取り組む団体に対し、公募事業を周知した。

(緑の募金公募) 採択 10団体

- (緑と水の森林ファンド公募) 採択 1 団体
- (ウ) 学校環境緑化モデル事業  
学校環境の緑化を通じて、青少年環境教育の推進を目的に学校敷地内の緑化や環境教育フィールドの整備を行う学校を支援した。  
申請 2 校、採択 2 校 (箱根町立湯本小学校ほか 1 校)
- (エ) 緑の募金推進体制整備交付金 廃止
- イ (公社) ゴルフ緑化促進会関係  
協力ゴルフ場所在地を中心とした公共施設へ緑化の推進等を支援した。  
申請 1 市、採択 1 市 (茅ヶ崎市)

### Ⅲ 理事会、評議員会等の開催状況

定款及び関係規程に基づき財団の運営について審議するため、次のとおり会議を開催した。  
なお、本年度の理事会は財団定款 (決議の省略) 第45条に基づき書面による決議とした。

#### 1 理事会

- (1) 第19回定時理事会  
提案日 令和3年6月8日 (火) 書面決議  
主な議案 令和2年度事業報告及び収支決算等
- (2) 第20回定時理事会  
提案日 令和4年3月18日 (金) 書面決議  
主な議案 令和4年度事業計画及び収支予算等

#### 2 評議員会

- 第10回定時評議員会  
開催日 令和3年6月23日 (水)  
主な議案 評議員、理事の選任並びに令和2年度収支決算等

#### 3 緑の募金運営協議会

- (1) 第20回緑の募金運営協議会 [再掲]  
(2) 第21回緑の募金運営協議会 [再掲]

## 事業報告の附属明細書について

公益財団法人かながわトラストみどり財団定款第8条第1項第2号に規定する事業報告の内容を補足する重要な事項を記載すべき「事業報告の附属明細書」は、本事業報告に掲載しているため作成しておりません。

令和4年6月

公益財団法人かながわトラストみどり財団